

## 決算補足説明資料

# 2025年度 3-11月期 業績概要

### 注意事項

- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2025年3月1日～2025年11月30日)

## 当決算におけるポイント（サマリー）

### ➤ 2025年度 3-11月期 実績

- ➔ **売上収益** … 前年同期比+0.4%
  - ・新規受注を確実に売上につなげ、受注残の正常化を進めた前年同期を上回る着地
- ➔ **営業利益** … 前年同期比▲3.3%
  - ・ロボットの売上案件ミックスの影響等により減益も、モーションの付加価値改善によりほぼ想定通りの着地
- ➔ **税引前利益** … 前年同期比▲44.3%
  - 親会社の所有者に帰属する四半期利益** … 前年同期比▲43.8%
    - ・持分法適用会社の株式譲渡益を計上した前年同期に対し減益
- ➔ **第3四半期 受注** … 前年同期比+15%・前四半期比+3%
  - ・インバータにてオイル・ガス向けの大口受注を獲得し前年同期比・前四半期比ともに増加

### ➤ 2025年度 通期 見通し

- ➔ **売上収益:5,250億円、営業利益:480億円（25年10月3日公表値を据え置き）**
  - ・米国関税政策などにより不透明な状況の中、足元では需要の回復が見られるものの3-11月期の進捗は想定通りであるため、通期見通しを据え置く
  - ・4Q想定為替レートは前回計画から変更なし
  - ・25年度の配当予想も4月4日公表時から変更なし（一株当たり年間配当68円）

# 目次

---

## 1. 2025年度 3-11月期 連結業績

- 2025年度 3-11月期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 所在地別売上収益, 構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2025年度 3Qにおける取組み
- AIロボティクス領域の拡大に向けた取組み

## 2. 2025年度 通期 連結業績見通し

- 2025年度 通期 見通し

## 3. 参考資料

- 設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度
- B/S 構造の推移
- 売上収益・営業利益推移
- 売上収益・営業利益 四半期推移
- 売上収益 四半期推移
- 四半期受注推移
- 参考定量情報

# セグメント別事業概要

## モーションコントロール

### 【主要製品】

- ・ ACサーボドライブ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ PMモータ

など



## ロボット

### 【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
  - アーク・スポット溶接・塗装用途向け
  - ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオメディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット
- ・ 自律ロボット

など



## システム エンジニアリング

### 【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電気システム
  - ・ 上下水道用電気計装システム
- など



## その他

- ・ 物流サービス

など

## 1. 2025年度 3-11月期 連結業績

## 2025年度 3-11月期 実績

- ・売上収益は新規受注を確実に売上につなげ、受注残の正常化を進めた前年同期から増加
- ・営業利益はモーションコントロールで付加価値改善が寄与も、ロボットの売上案件のミックスの影響などにより減少
- ・売上収益・営業利益ともに、ほぼ想定通りの着地

	2025年度	2024年度	前 年 同 期 比	
	3-11月期 実績	3-11月期 実績	増減額	増減率
売上収益	3,952億円	3,937億円	+15億円	+0.4%
営業利益	332億円	343億円	▲11億円	▲3.3%
税引前利益	351億円	630億円	▲279億円	▲44.3%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	255億円	455億円	▲199億円	▲43.8%

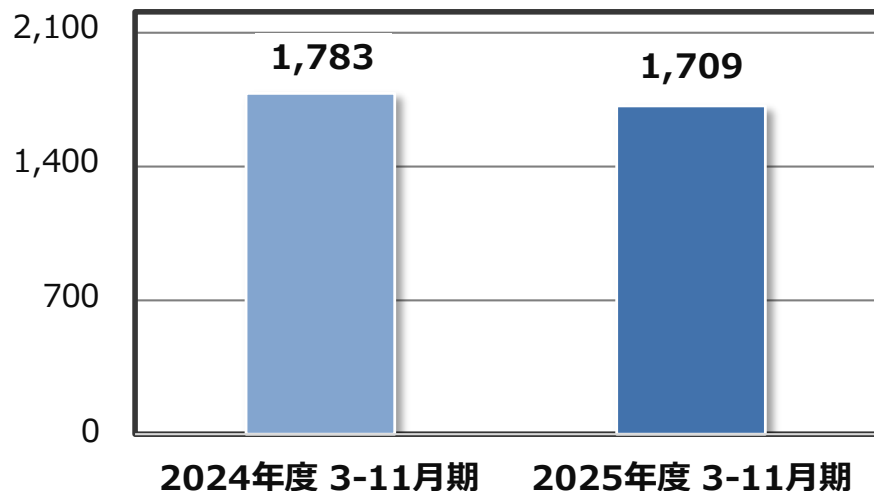
## 2025年度 3-11月期 実績（セグメント別）

- ・ モーションコントロールは受注残の正常化を進めた前年同期に比べ減収も、付加価値改善や間接費抑制により増益
- ・ ロボットは中国と韓国での自動車大口案件の売上や、一般産業分野の設備投資需要をグローバルで捉え増収も、売上案件のミックスの影響により減益
- ・ システムエンジニアリングは各主力事業で販売が微減となり減収。売上減少に伴う利益減の影響で減益

	2025年度 3-11月期		2024年度 3-11月期		前 年 同 期 比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売 上 収 益	3,952		3,937		+15	+0.4%
モーションコントロール	1,709		1,783		▲75	▲4.2%
ロボット	1,830		1,705		+125	+7.3%
システムエンジニアリング	268		278		▲10	▲3.5%
その他	145		171		▲25	▲14.9%
営 業 利 益	332	8.4%	343	8.7%	▲11	▲3.3%
モーションコントロール	164	9.6%	160	9.0%	+4	+2.4%
ロボット	155	8.5%	161	9.5%	▲6	▲3.9%
システムエンジニアリング	27	10.2%	30	10.9%	▲3	▲9.6%
その他	14	9.6%	10	6.1%	+4	+34.8%
消去または全社	▲28	-	▲19	-	▲9	-

# 主要事業の概要 モーションコントロール

売上収益(億円)



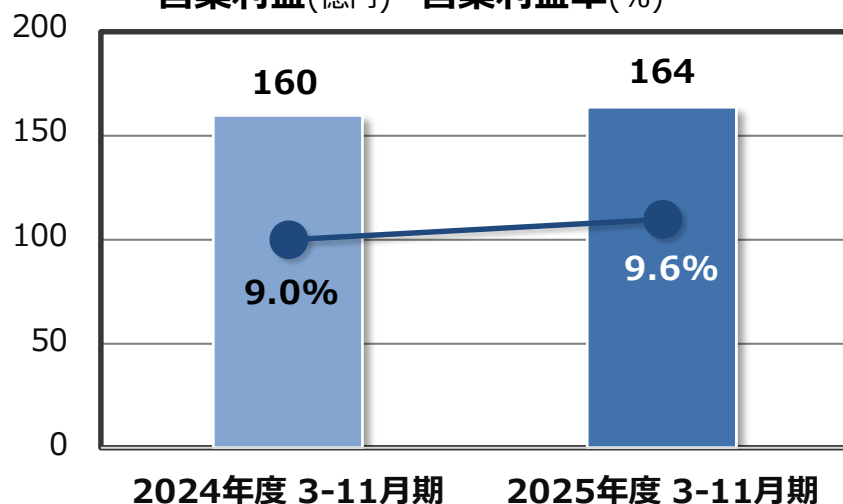
## 【売上収益】

- ACサーボは米州・アジアの半導体市場向けの販売が減少も日本の電子部品市場向けを中心に販売が増加し微増
- インバータは米国の太陽光発電用パワーコンディショナや空調用途向けの販売が堅調も、前年同期に受注残の正常化を進めた影響もあり減収

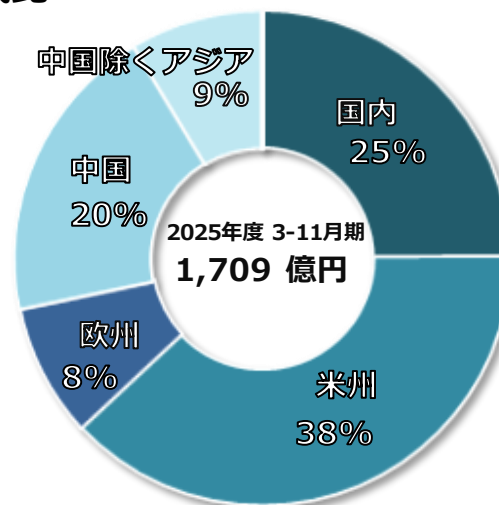
## 【営業利益】

- 付加価値の改善や間接費の抑制を進め増益

営業利益(億円)・営業利益率(%)



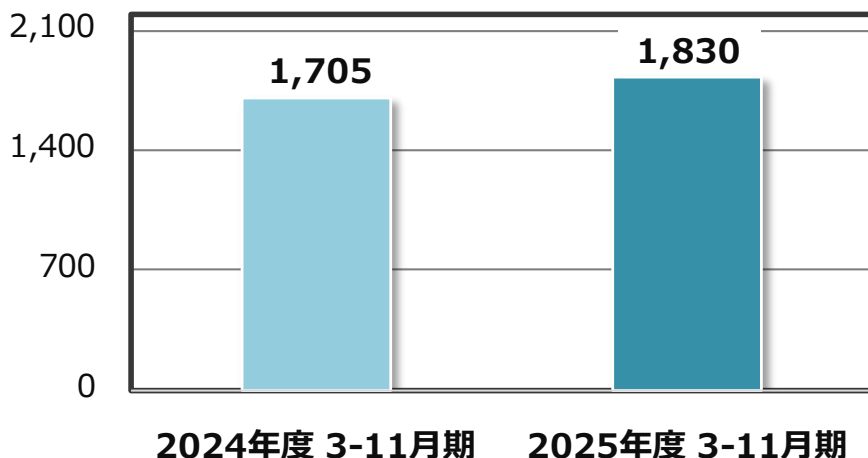
所在地別売上収益構成比





# 主要事業の概要 ロボット

売上収益(億円)



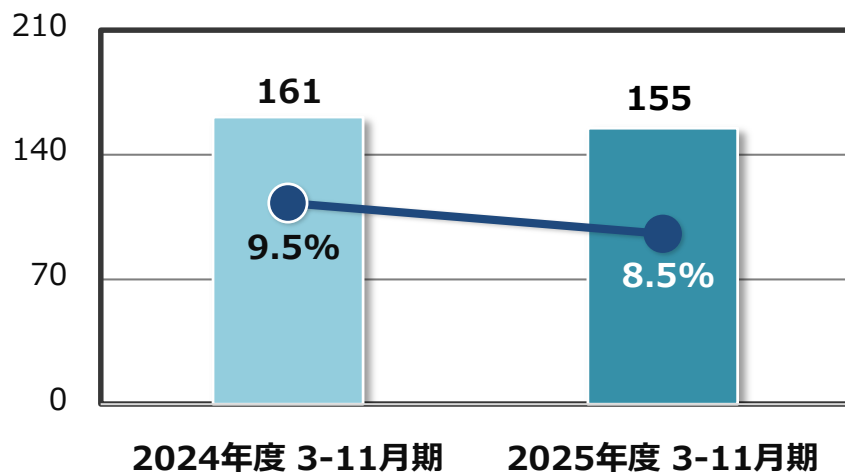
## 【売上収益】

- 自動車市場では、日本・米州・欧州は関税影響により設備投資が低調に推移も、中国と韓国での大口案件の売上が寄与
- 一般産業分野の設備投資需要をグローバルで捉え、セグメント全体では増収

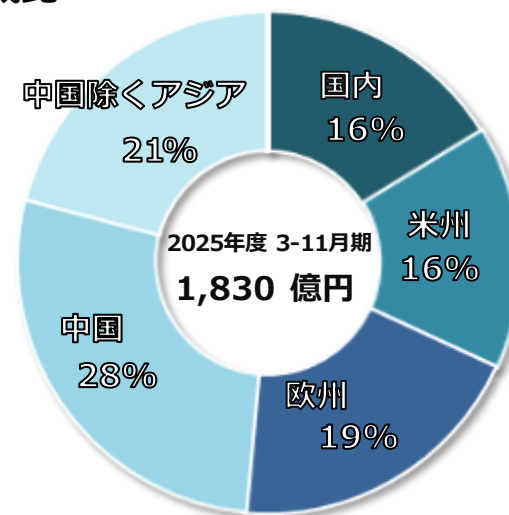
## 【営業利益】

- 売上案件のミックスの影響により減益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

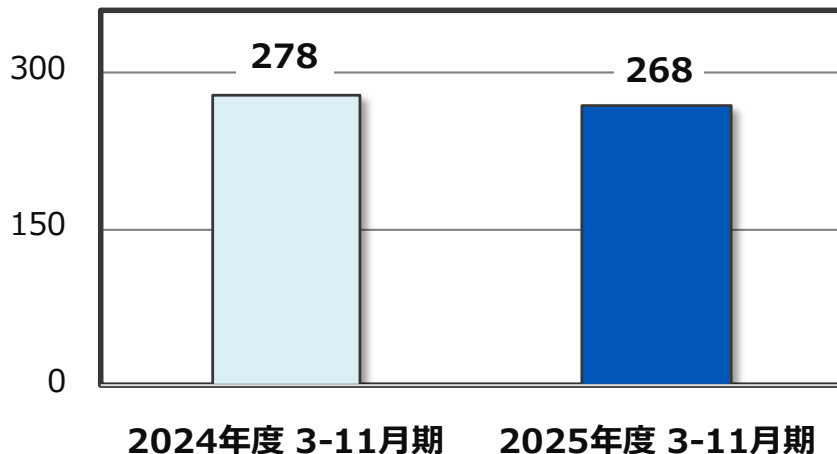


所在地別売上収益構成比



# 主要事業の概要 システムエンジニアリング

売上収益(億円)



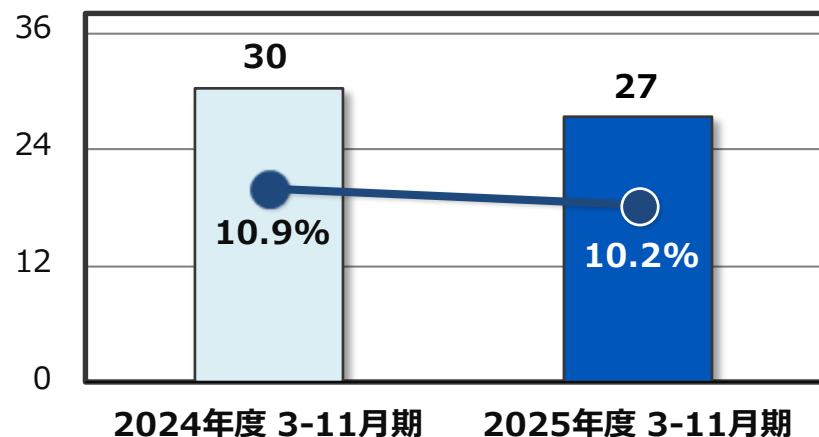
## 【売上収益】

- 主力の鉄鋼プラントや港湾クレーン、社会システム向けの販売がそれぞれ微減となり減収

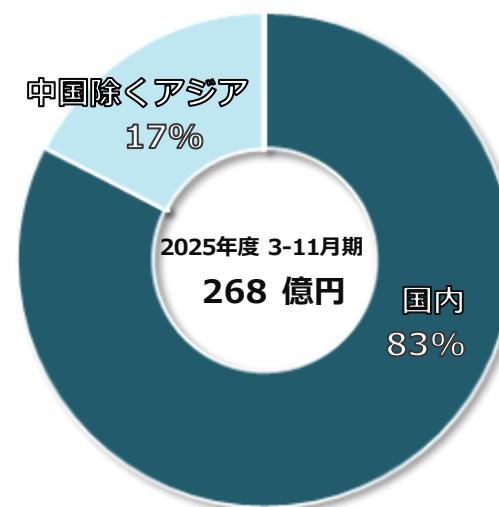
## 【営業利益】

- 売上減少に伴う利益減の影響などで減益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

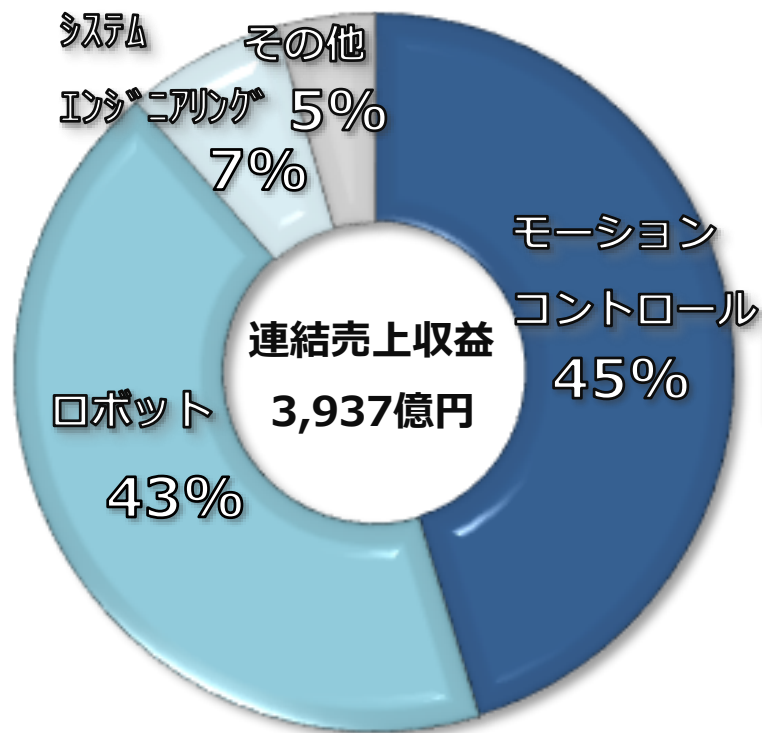


所在地別売上収益構成比

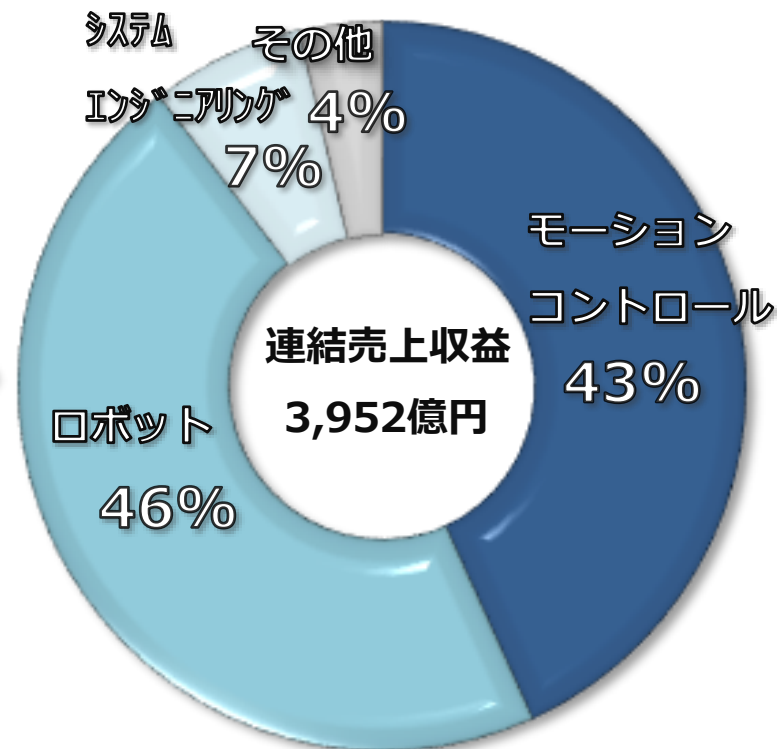


# 事業セグメント別売上収益構成比

## 2024年度 3-11月期



## 2025年度 3-11月期



## 所在地別売上収益

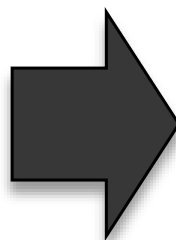
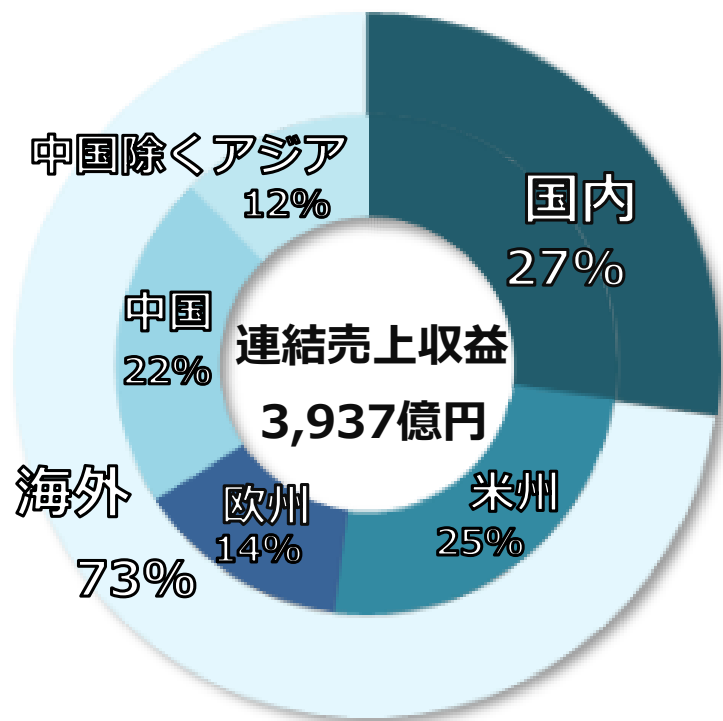
・アジアの大幅な増収が他地域の減収をカバーし、全体としてほぼ横ばい

(単位：億円)	2025年度	2024年度	前年同 期 比	
	3-11月期 実績	3-11月期 実績	増減額	増減率
売上収益	3,952	3,937	+15	+0.4%
国内	1,070	1,076	▲6	▲0.5%
海外	2,882	2,861	+21	+0.7%
米州	942	977	▲35	▲3.6%
欧州	505	543	▲38	▲6.9%
中国	859	855	+4	+0.4%
中国除くアジア	576	486	+90	+18.6%

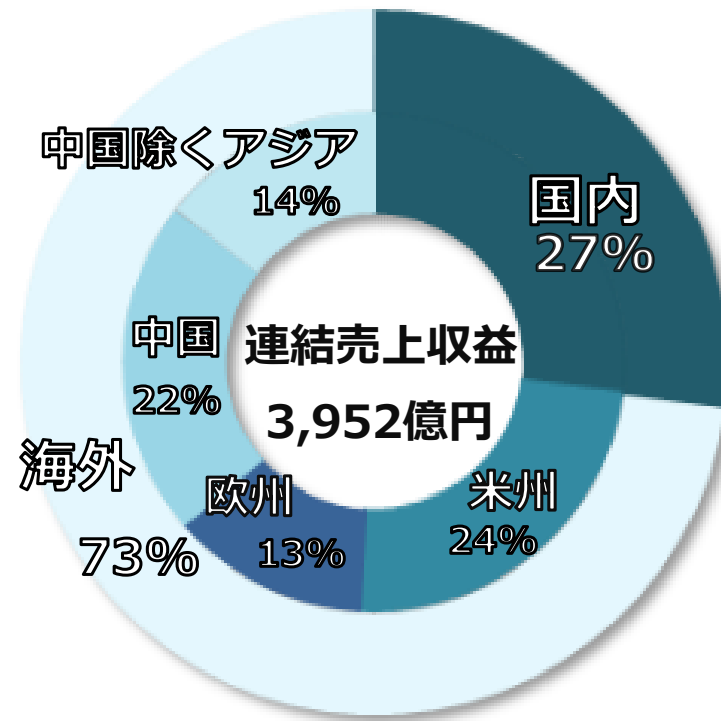
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

## 所在地別売上収益構成比

2024年度 3-11月期



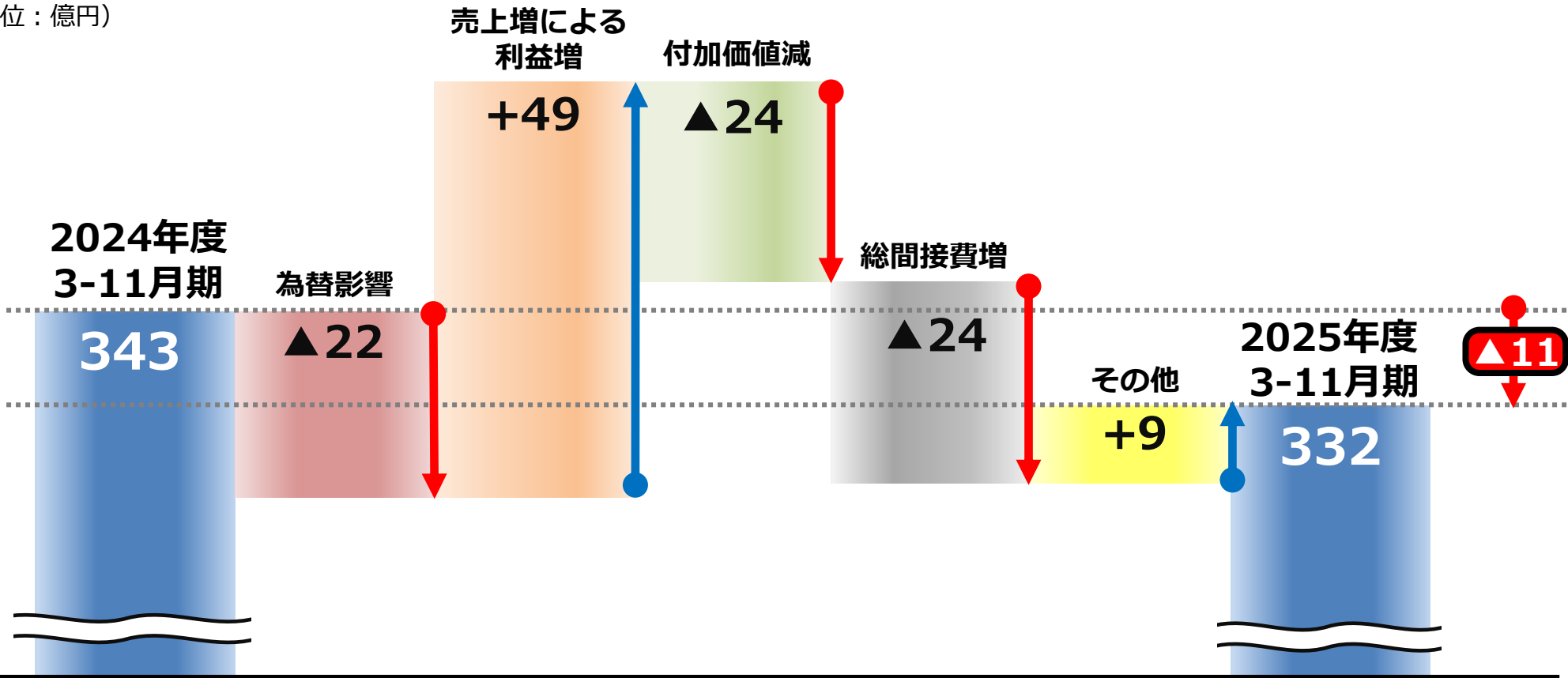
2025年度 3-11月期



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

# 営業利益増減要因分析（2024年度 3-11月期 → 2025年度 3-11月期）

(単位：億円)



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	▲ 9	▲ 24	+ 25	+ 10	+ 2
ロボット	▲ 13	+ 80	▲ 54	▲ 23	+ 3
システムエンジニアリング	▲ 0	▲ 4	+ 3	▲ 2	+ 0
その他	▲ 0	▲ 2	+ 3	▲ 9	+ 4

## 2025年度 3Qにおける取組み

### “i<sup>3</sup>-Mechatronics”ソリューションによる価値創出

#### 開発力の強化

- 既存の作業環境で人の代替が可能な自律性と高い作業力を備えた自律型の双腕ロボット(MOTOMAN NEXT)を開発
- ロボティクスをAIと通信技術で強化し、ロボットが人と柔軟に協働する未来の実現を目指してソフトバンク(株)と覚書を締結

#### 販売力の強化

- セル構築の効率化やグローバル標準技術への対応を実現した製品(『YRM1030』『iC9200』)の発売により、i<sup>3</sup>-Mechatronicsを実現するコントローラソリューション「iCube Control」のラインアップを強化
- 国際ロボット展にてAIロボティクスとデジタルの技術融合による最新ソリューションを提案

### メカトロニクス応用領域の事業拡大による サステナブルな社会実現への貢献

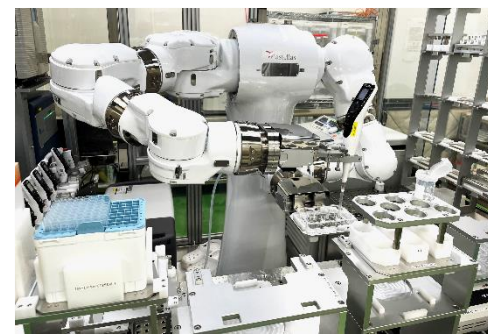
- 再生医療等製品の製造プラットフォームの開発・提供を行うセラファ・バイオサイエンス(株)をアステラス製薬(株)と設立  
(2025年9月29日)
- 「まほろ」によるロボット式細胞培養自動化システムが  
米国食品医薬品局(FDA)から先進製造技術指定を取得(日本企業初)



梱包作業を実現する  
自律型の双腕ロボット(MOTOMAN NEXT)



YRMコントローラ  
「YRM1030」



細胞製造プラットフォームで稼働する  
汎用ヒト型ロボットLabDroid「まほろ」

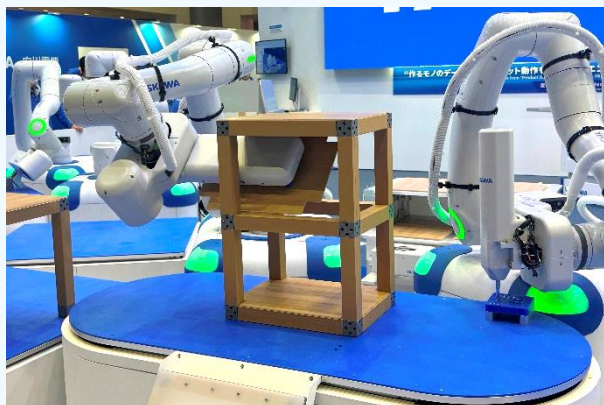


# AIロボティクス領域の拡大に向けた取組み

- ・ 安川電機が定義するAIロボティクスとは『モーションとAIの融合』
  - ・ ロボット自身が「見て」「触って」「判断し」それを基にした「動作」につなげる
- AI による認識・判断を自律的な動きに変え、ロボットが対応できる作業領域を拡張

## 具体的な取組み例

### 変種変量生産の実現



椅子やテーブルの組立作業において、寸法などの設計を変更しても「ロボットの動きを自動生成すること(エンジニアリングレス)」により設備の変更が不要となり、変種変量生産を実現

### 人手に依存していた作業の自動化



これまで人間のカンやコツが必要だった梱包作業において、双腕型のMOTOMAN NEXTは人の実演を模倣し学習することで作業をティーチングレスで自動化

### 新たな場面(未自動化領域)へのフィジカルAIの社会実装



ビル、学校、百貨店などの自動化が進んでいない領域へフィジカルAIを社会実装することに取り組む。SoftBankのAI-RAN※を活用し、オフィスビル内の事象を把握し自律的に対処するユースケースを開発

※ 無線アクセスネットワーク(RAN)にAI技術を組み込みネットワークの最適化や運用効率を向上させる技術



## 2. 2025年度 通期 連結業績見通し

# 2025年度 通期 見通し

・地政学的リスクや米国の関税政策などにより不透明な状況の中、足元では需要の回復が見られるものの、3-11月期の進捗は想定通りであるため、通期見通し（2025年10月3日公表）を据え置く

	2025年度	2024年度	前 年 同 期 比	
	見通し	実績	増減額	増減率
売 上 収 益	5,250億円	5,377億円	▲127億円	▲2.4%
営 業 利 益	480億円	502億円	▲22億円	▲4.3%
税 引 前 利 益	505億円	785億円	▲280億円	▲35.6%
親会社の所有者に帰属する 当 期 利 益	370億円	570億円	▲200億円	▲35.1%

## 3. 参考資料

# 設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度

## 設備投資・研究開発費の状況

(単位：億円)

	2023年度(実績)	2024年度(実績)	2025年度(計画)
設備投資額	378.6	406.7	550.0
減価償却費	208.0	208.0	220.0
研究開発投資	212.5	237.7	250.0

## 為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位：円)

	2023年度(実績)				2024年度(実績)				2025年度(想定)			
	3-11	4Q	下期	通期	3-11	4Q	下期	通期	3-11	4Q	下期	通期
対 米ドル	142.1	146.7	147.9	143.2	152.2	154.1	151.6	152.7	147.9	145.0	148.2	147.2
対 ユーロ	153.7	159.4	159.3	155.1	165.1	160.6	161.3	164.0	169.4	160.0	168.1	167.1
対 元	19.89	20.42	20.44	20.02	21.12	21.12	21.01	21.12	20.58	20.00	20.63	20.45
対 ウォン	0.108	0.111	0.112	0.109	0.112	0.107	0.108	0.111	0.105	0.110	0.108	0.106

## 為替感応度

(単位：億円)

	1%変動による影響額目安 (2025年度_通期)	
	売上収益	営業利益
米ドル	13.2	3.0
ユーロ	6.7	1.0
元	11.3	3.0
ウォン	4.0	1.3

# B/S 構造の推移

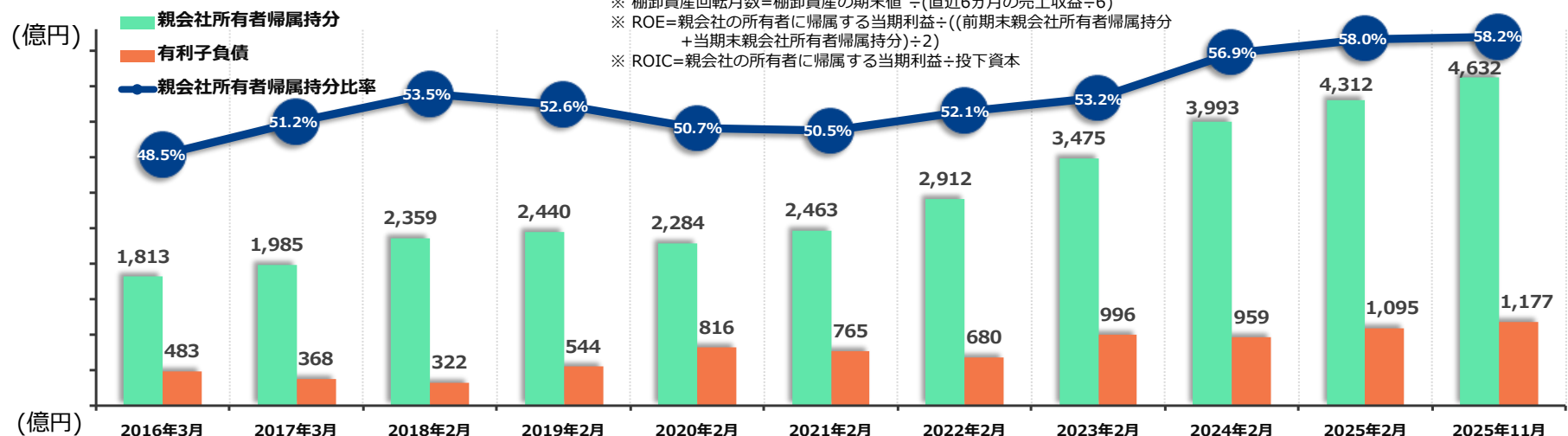
## 2025年2月28日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 58.0%
- 親会社所有者帰属持分 4,312億円
- 有利子負債 1,095億円  
(現金及び現金同等物) 590億円
- D/Eレシオ 0.25  
(ネットD/Eレシオ) 0.12
- 棚卸資産 2,063億円  
(回転月数) (4.5ヶ月)
- ROE 13.7%
- ROIC 12.2%

## 2025年11月30日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 58.2%
- 親会社所有者帰属持分 4,632億円
- 有利子負債 1,177億円  
(現金及び現金同等物) 437億円
- D/Eレシオ 0.25  
(ネットD/Eレシオ) 0.16
- 棚卸資産 2,169億円  
(回転月数) (4.8ヶ月)

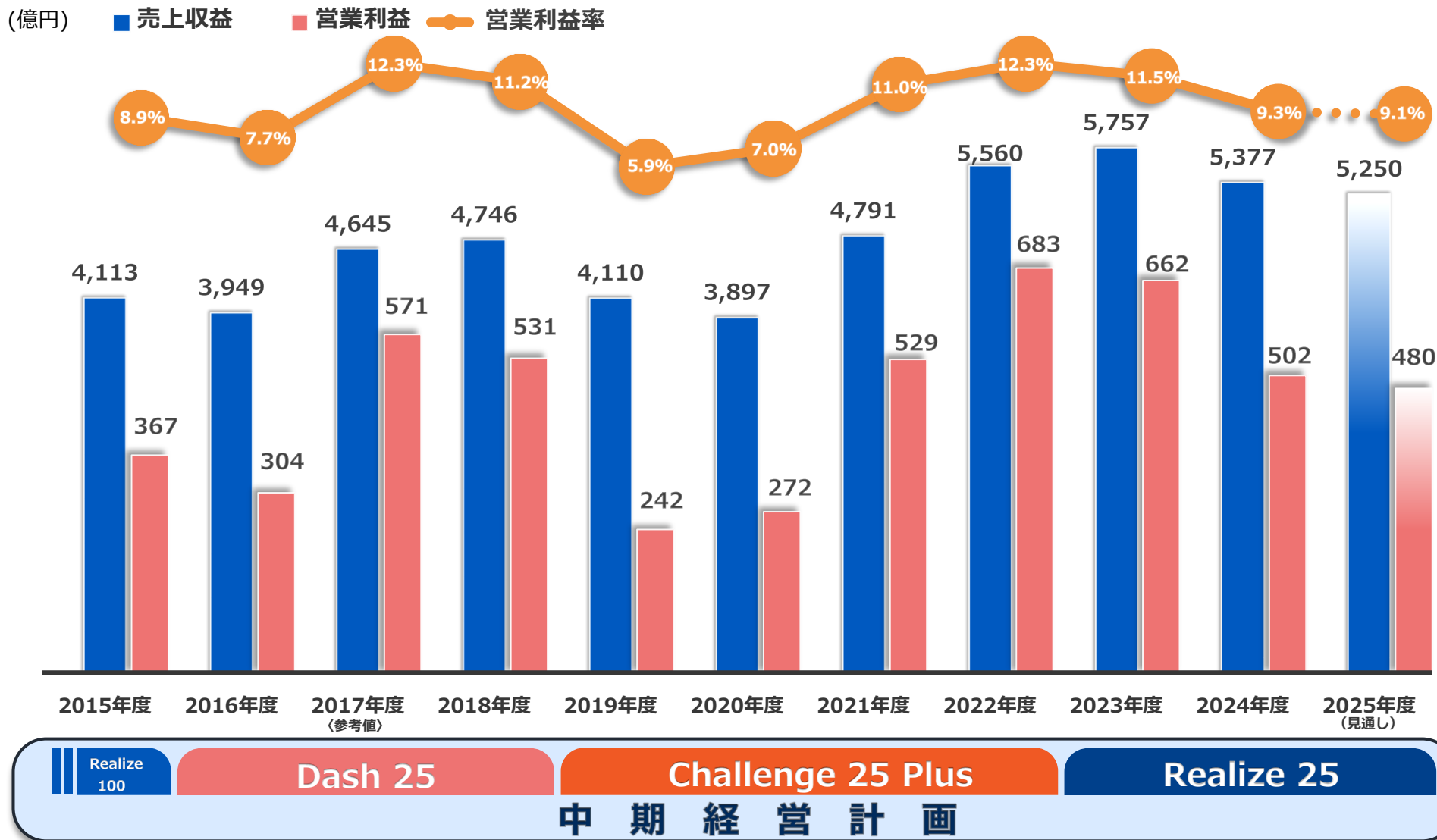
※ 有利子負債はリース債務を含む  
 ※ 棚卸資産回転月数=棚卸資産の期末値÷(直近6カ月の売上収益÷6)  
 ※ ROE=親会社の所有者に帰属する当期利益÷((前期末親会社所有者帰属持分  
 +当期末親会社所有者帰属持分)÷2)  
 ※ ROIC=親会社の所有者に帰属する当期利益÷投下資本



(億円)	2016年3月	2017年3月	2018年2月	2019年2月	2020年2月	2021年2月	2022年2月	2023年2月	2024年2月	2025年2月	2025年11月
営業CF	320	338	461	343	215	396	492	▲ 22	546	565	315
投資CF	▲ 224	▲ 189	▲ 189	▲ 271	▲ 206	▲ 96	▲ 242	▲ 197	▲ 293	▲ 213	▲ 357
フリーCF	95	148	272	72	8	300	251	▲ 219	253	352	▲ 42

[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載

# 売上収益・営業利益推移（2015年度～2025年度見通し）

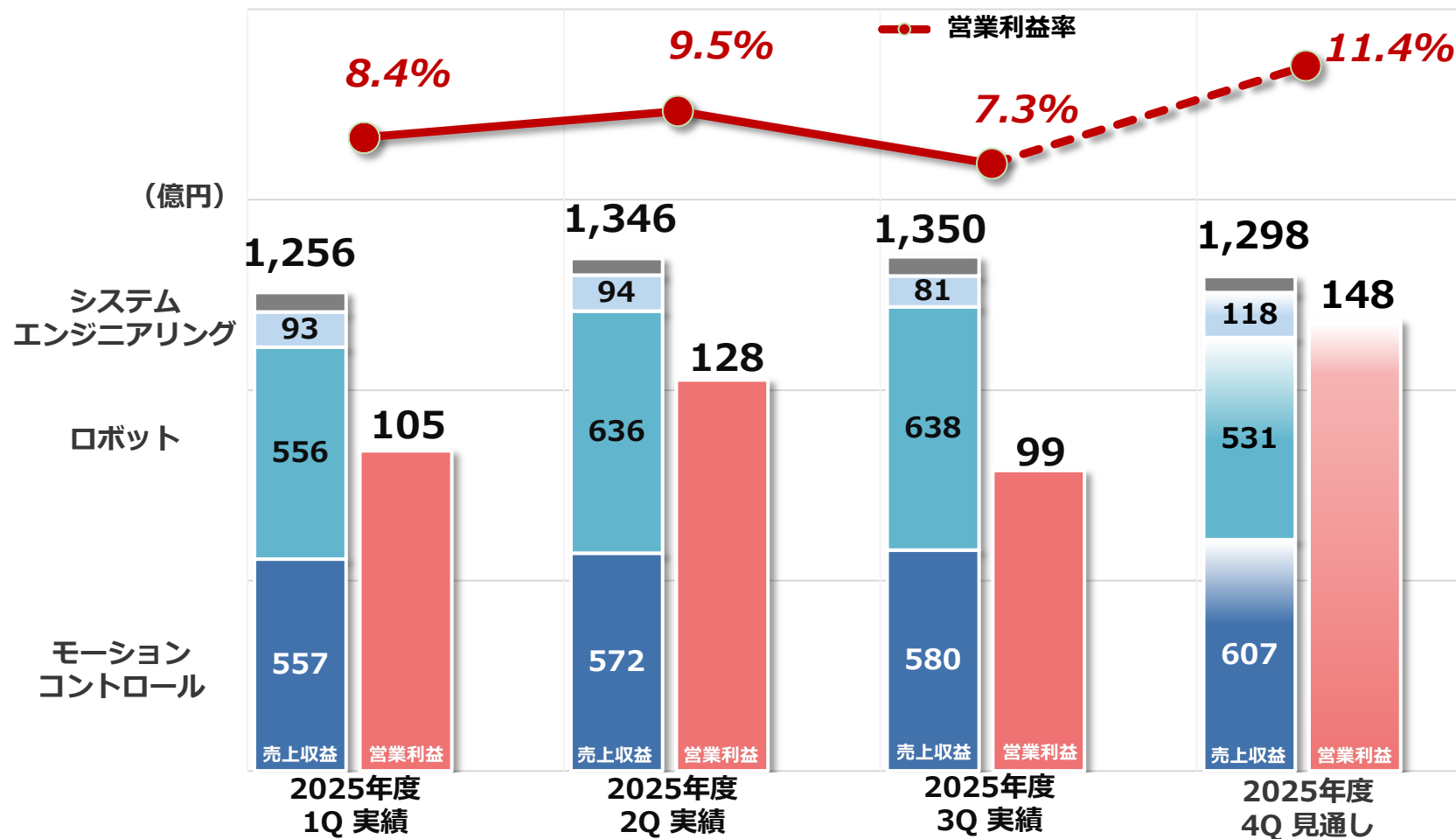


[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載

[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

## 売上収益・営業利益 四半期推移

- ・ 売上収益は自動車の大口案件により2Q・3Qで1,300億円を超える
- ・ 3Q営業利益率は売上案件のミックス影響などにより低下



# 売上収益 四半期推移

## 全社

(億円)

1,800

1,600

1,400

1,200

1,000

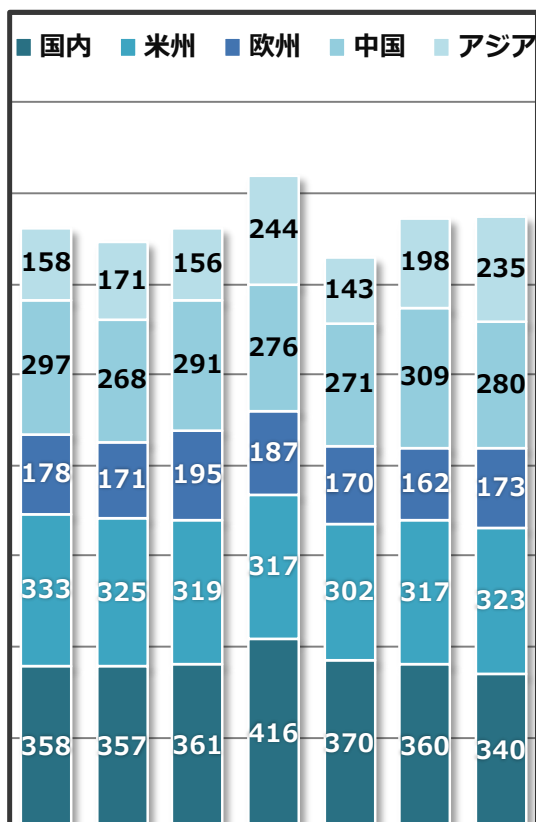
800

600

400

200

0



## モーションコントロール

(億円)

800

700

600

500

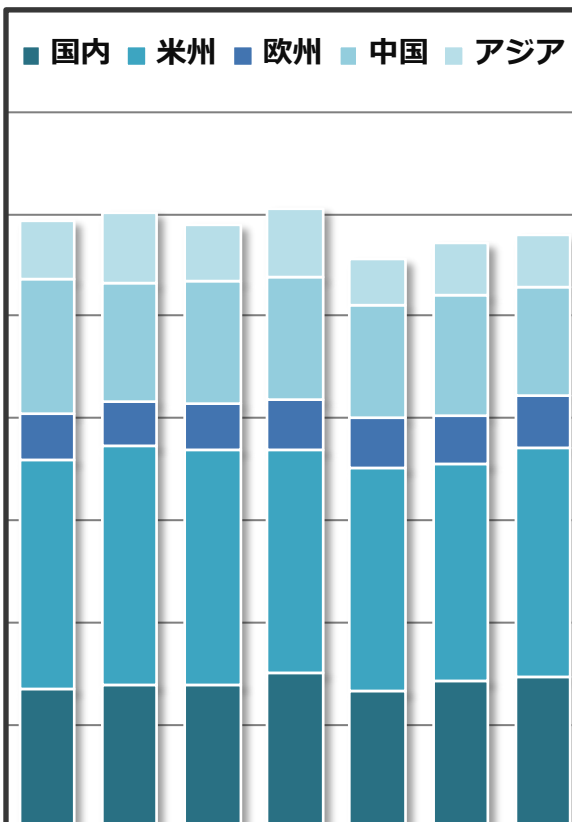
400

300

200

100

0



## ロボット

(億円)

800

700

600

500

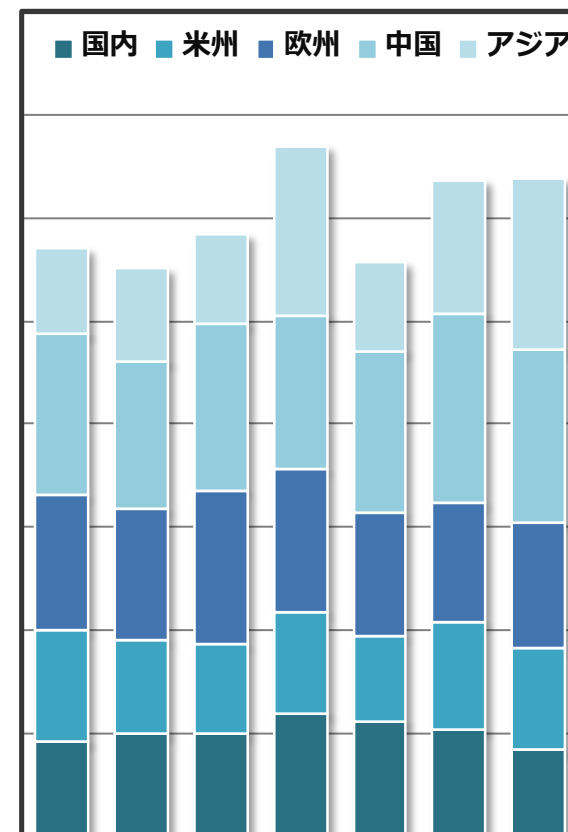
400

300

200

100

0

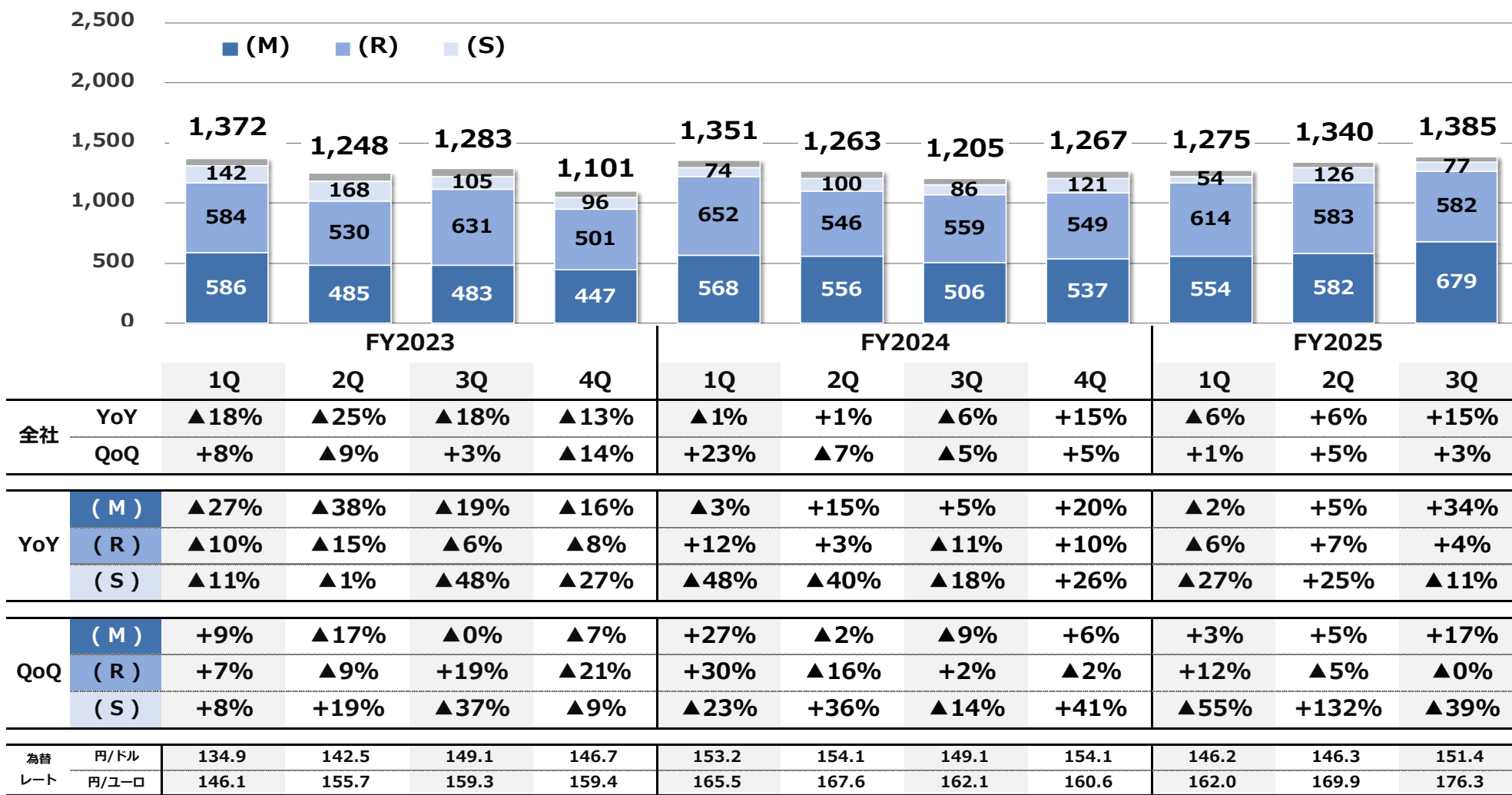




# 四半期受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用

(億円)

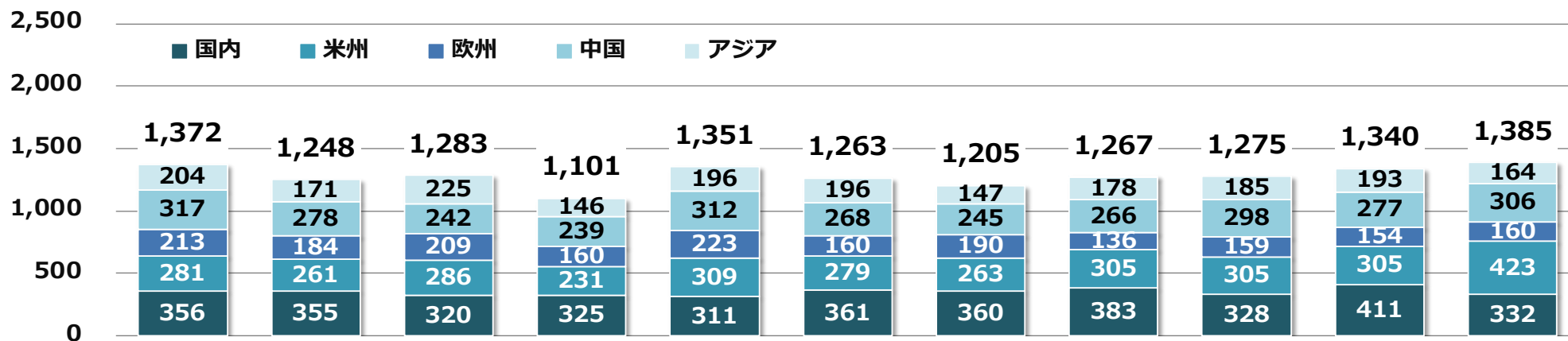


[注] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

# 四半期受注推移（所在地別）

※為替は期中平均レートを使用

(億円)



		FY2023				FY2024				FY2025		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
Total	YoY	▲18%	▲25%	▲18%	▲13%	▲1%	+1%	▲6%	+15%	▲6%	+6%	+15%
	QoQ	+8%	▲9%	+3%	▲14%	+23%	▲7%	▲5%	+5%	+1%	+5%	+3%
YoY	国内	▲23%	▲31%	▲26%	▲11%	▲13%	+2%	+13%	+18%	+6%	+14%	▲8%
	米州	▲19%	▲30%	▲12%	▲23%	+10%	+7%	▲8%	+32%	▲1%	+9%	+61%
	欧州	▲13%	▲2%	▲21%	▲28%	+5%	▲13%	▲9%	▲15%	▲29%	▲4%	▲16%
	中国	▲27%	▲26%	▲41%	+3%	▲1%	▲3%	+1%	+11%	▲5%	+3%	+25%
	アジア	+10%	▲20%	+72%	▲2%	▲4%	+14%	▲34%	+22%	▲6%	▲1%	+11%
QoQ	国内	▲3%	▲0%	▲10%	+2%	▲5%	+16%	▲0%	+6%	▲14%	+25%	▲19%
	米州	▲6%	▲7%	+10%	▲19%	+34%	▲10%	▲6%	+16%	+0%	▲0%	+39%
	欧州	▲4%	▲13%	+14%	▲24%	+40%	▲28%	+19%	▲28%	+17%	▲3%	+4%
	中国	+37%	▲12%	▲13%	▲1%	+30%	▲14%	▲9%	+9%	+12%	▲7%	+10%
	アジア	+37%	▲16%	+31%	▲35%	+34%	▲0%	▲25%	+21%	+4%	+5%	▲15%

参考定量情報（為替影響・受注・売上収益比率）

売上収益における為替影響

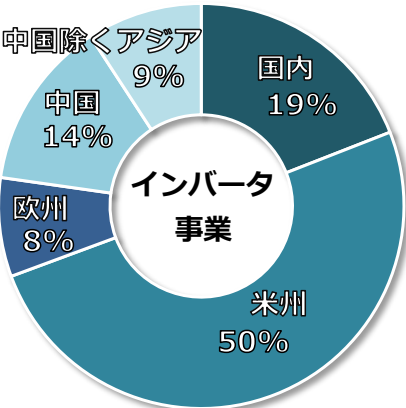
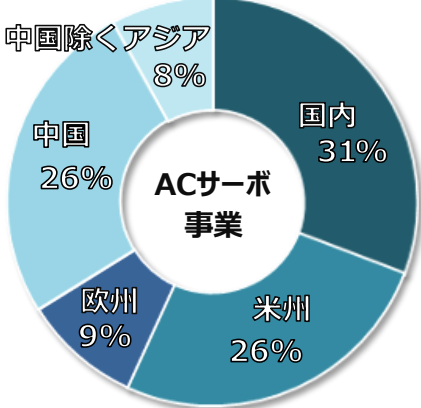
		前年同期比	
(単位：億円)		2025年度 3-11月期	2025年度 見通し
全社		▲65	▲99
	モーションコントロール	▲30	▲52
	ロボット	▲33	▲45
	システムエンジニアリング	▲1	▲1
	その他	▲1	▲1

連結受注 事業別・所在地別増減率

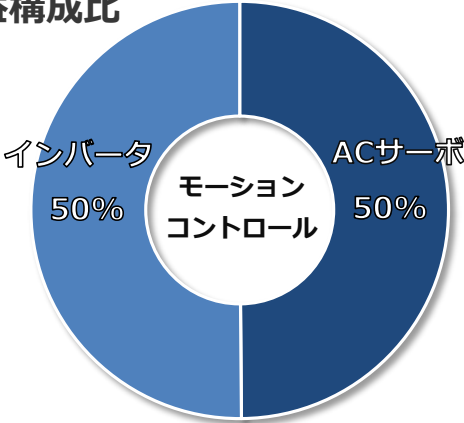
FY2025 3Q 受注		モーションコントロール		ロボット
		ACサーボ	インバータ	
全社	YoY	+11%	+62%	+4%
	QoQ	+7%	+26%	▲0%
YoY	国内	+6%	▲14%	▲22%
	米州	+8%	+142%	+9%
	欧州	+24%	+47%	▲28%
	中国	+4%	+17%	+46%
	アジア	+48%	▲39%	+24%
QoQ	国内	▲14%	▲18%	▲17%
	米州	+48%	+58%	▲1%
	欧州	+2%	+31%	+0%
	中国	+7%	+19%	+12%
	アジア	+4%	▲57%	▲3%

モーションコントロールセグメント  
2025年度3-11月期 売上収益構成比

所在地別売上収益構成比



事業別売上収益構成比



# **YASKAWA**